

2012年度一般社団法人日本石材産業協会 第3回常任理事会  
議事録

日時：2013年1月29日(火) 10時30分～17時00分  
場所：東京文化会館大会議室 進行役：中江専務

I. 開 会

II. 会長挨拶：射場会長

本年は混沌が加速するという見方もある。目標をしっかりと立て行動計画を立てることが必要である。和歌山にある梅干しインターネット通販会社がパソコン注文数は減らなかったが、携帯電話からの注文数が激減した。旧来の携帯電話用ホームページを持っており、スマホ対応のホームページは持っていなかった。そのために激減。ほかの業種ならまだしも梅干しという業種で、スマホ対応がなかった為に注文が激減という現実。我々石材業界もそのようなことの二の舞を踏まぬようしっかり今年1年の行動計画を立てることが大切である。

III. 議 事

1. 議長選出：井口副会長
2. 定足数確認：37名中35名出席。定足数に達しているので本会議は成立。
3. 議事録署名人の指名：正副会長及び監事より 各1名を指名 犬塚・斎藤
4. 資料及び議案の確認、新議題の採択について
5. 前回議事録の承認：2012年度第2回理事会・第2回常任理事会議事録 —— 報告資料 P1-12
6. 第7回正副会長会議：承認議案について正副議事録参照 —— 報告資料 P13-17
7. 第8回正副会長会議：承認議案について正副議事録参照 —— 報告資料(当日配布)

※出席の関係で協議事項は午後から行う。

【審議事項】

1. 入退会者について：事務局 —— 中江専務 審議資料 P1-6

(1) 入会者2名について

全会一致にて承認

(2) 退会者8名について

二上 山形県の退会者の退会理由が気になるが事実関係は確認しているのか？

斎藤 感情的な問題なのでどうしようもない。

全会一致にて承認

【協議事項】

1. 各事業計画について

〈委員会より〉

(1) 社会調査委員会：墓埋法研究委員会設立について —— 柴田委員長 協議資料 P1-5

柴田：2012年4月より許可権限が市町村に移った。812市町村。データベースの構築。

墓地理葬法の受任者スケジュールはタイト・週刊ダイヤモンドに掲載を考えている。次回理事会にて審議願いたい。総会には中間報告予定。調査費用等高額予算であるが、業界団体として現状を把握するためにも墓埋法のデータベースの構築を行いたい。

墓地の改正はこれを踏まえていないとできない。納骨堂の犠牲対象とも成りうる。

石本：墓地管理の資格がある。墓地管理士がすべきこと？霊園を扱っている会員はごく少数。予算をここまで使う必要があるのか？もう少し考えたほうがよいのではないか。

柴田：予算に関してはもう少し精査する。

中江：研究会は賛成である。関係者はごく一部。相見積の必要性。関連団体・有識者のピックアップ。

井口健：寺院も戸惑っている。出入りしている石材店も把握する必要があるのではないか。

白木：研究会は賛成であるが、各自治体のデータを取る必要があるのか？みな墓埋法に基づいているのでは？

柴田：全国組織である以上、全国の調査が必要だと思う。微妙な違いがずいぶん大きい。

石本：全国組織であるからこそ各県の会員に依頼すればよいのではないか？集める形式だけ作ればよいのでは？行政にも販売すればよいのではないか？

柴田：行政には配布予定。

長江：墓埋法に関しては市町村に降りている段階。例えば墓苑協会はスペシャリストである。全優石などと共同予算にはできないのか？墓苑協会のデータを借りることはできないか？

柴田：依頼の投げかけは出来ると思う。

再度委員会で検討後、次回理事会にて再協議。

(2) 研修委員会：

小冊子【お墓物語第二集】作成について ————— 山口委員長 協議資料 P6-7

柴田：少し見栄えが悪いのではないかと。冊子ではなく書籍化はどうか？

山口：体裁ではなく、渡しやすい冊子が良いかと思っている。

上野：お墓物語は消費者を切り崩すきっかけとなる。100話作り、101話目は消費者自身がつくるという白紙ページをつけるのはどうか？

福川：前回、編集には苦勞をした。是非、委員会にみなさん参加していただきたい。

柴田：動画作成とのことだが、1本くらいは漫画にできないか？

**次回審議**

(3) 研修委員会：

お墓ディレクター1級資格取得者更新制度について ————— 山口委員長 協議資料(当日配布)

山口：各地区支部でと考えていたが、対象人数の問題、費用対効果などの問題から2013年度からDVDを1級取得者が見て更新としたい。予算に関してはもう少し検討したいと思う。DVDは2年間で一区切りとしたい。

戸高：費用が人数(更新者)に対してかかりすぎではないか？

石本：手前味噌の簡単なものでいいのではないかと。著作権の問題も注意すべきである。

長江：年次大会又は総会時に更新講習会を開き、参加できなかった人にDVDではどうか？

**次回再協議**

(4) お墓ディレクター委員会：

お墓ディレクターの今後について ————— 中村委員長 協議資料(当日配布)

中村：新テキストについて・試験方法の改正・模擬問題集  
テキストについて

鈴木：確認だが、テキスト改定によって小島宏允先生は外すのか？

中村：試験内容からはお墓ディレクターとは外した形となる。小論文の変更する。

鈴木：小島先生の著作権の問題は大丈夫なのか？

中村：委員会としては新しい方向性を考えている。著作権に関してはおいおい検討。

長江：日本人のお墓・小島宏允先生以外の著者の部分は抹消してしまうのか？宗教部分が消えてしまう。柱をどうするのか？他の著者はどうする？

石本：お墓ディレクターはもう少し理事会で検討したほうが良いのでは？委員会だけでは難しいのでは？

中村：委員会の中では消費者に答えられるような・・・消費者目線お墓ディレクターを目指す。

次回以降細かい資料をつけたいと思う。

山口：今後の方向性を定めてから各執筆者と相談、打ち合わせを進めていきたい。実務経験数の変更については？

中村：7年を3年にしたとしても合格率はだいたい同率にできればと思う。

石本：技能士をとっている人に・・・かぶる問題は免除してはどうか？

中村：透明性の高い試験にしたいと思う。

井口功：試験内容の方向性。お墓ディレクターを周知にするには？

中村：知名度の広報。ポスター、のぼりなどグッズの製作。検定をきちんとこなす。

上野：広報として消費者の安心度につながる。マスコミを使い繰り返し伝えていきたい。

石本：お墓ディレクターのイメージを有効活用した試験を期待する。社員教育になるような試験マナーに関しての問題。

柴田：トータルした知識。どう消費者に伝えるか？知識の羅列ではなくどう伝えるのかを試験問題としてほしい。相談室の模擬応答などを問題。

1級=実務経験3年以上の2級資格者への変更については特に意見なし。

**次回継続協議**

(5) 役員候補者推薦委員会について ————— 中江専務 協議資料 P8-10

柴田：委員の選定は誰が行うのか？

中江：今までは、会長と一部副会長。会長はオブザーバーであった。

柴田：選挙管理委員会となると、その時の政権の人がメンバーになるのはおかしい。副会長は委員長会議を含むという書き方になっているが、委員長会議で副会長を選んでいいのか？正誤性がないのでは？

中江：意見として検討。その時の政権の人がメンバーになることは今後ない。

長江：P9第10条(2) 変更事項はこの部分が曖昧。これまでは支部長の意見を担当地区長がまとめたいたが、下から上がってくるのか？会長が委員長を選ぶのか？中央集権的に決めてしまうのはどうか？

中江：会長による推挙が5名となっているが、政策を遂行するために会長が推挙するのも必要であるが、

下から上がってくる副会長も必要である。(2) (3) がそれに当たる。  
 中江：まだ、検討事項。これで決めるのではなく皆さんの意見をもとに決める。  
 柴田：現実委員長は会長指名。個人的意見であるが委員長枠、部会長枠、会長枠で6名地区支部で5名  
 合計11名 かどうか？委員長枠で3名は多い気がする。  
 中江：監事についてはどうか？推薦方法理事会にて選考し3名となっている。  
**次回協議にて再検討 監事については特に意見なし。**

**(6) 年次大会 2013 について** 戸高委員長 協議資料(当日配布)

戸高：登録料に関しては1人2000円(ワークショップ参加費ではなく、年次大会参加費として総会ののみ参加者は登録料なし)  
 射場：基調講演の件小阪裕司氏について・・・お墓の必要性について一般の方に伝える場合十分に価値がある講演をしていただけたらと思う。  
 戸高：60万円の高予算ではあるが本日講師に関しては決めてもらいたい。  
 柴田：新しい視点の講演は必要だが講演者の情報が少ない。  
 二上：2013年度、新しく外部講師を招くことで内側になかったものを与えてもらえると思う。  
 長江：今後のことを含めて会員からどのような講師を望んでいるのかアンケートを取ることを検討してもらいたい。

**講師の部分に関しては部分審議 全会一致**

熊野：ワークショップの内容はいつまでに決めるのか？  
 戸高：2月末までに決定。  
 大川：次世代委員会ではもっと交流したいという意見があった。全国から集まるのであれば、前回もっと時間が欲しかった。最終枠にしてもらいその後、交流会を開催したい。次回理事会にて審議していただけないか？  
 長江：女性石材人を午前に変更可能なので午後最終枠と交換。  
 ※次世代 ネットワーク委員会次回正副に案を提出。  
 柴田：墓理法の件がまだ協議事項。その方向で進んでよいのか？委員会に持ちかえり検討する。  
 戸高：タイトなスケジュールであるが協力を乞う。

〈その他〉

**IV. 報告・依頼・確認事項**

〈正副審議事項より〉

1. 東北地区全体会議について 菊地地区長 報告資料 P1-2  
 菊池：皆様のご協力をお願いしたい。
2. 中国四国地区全体会議事業報告決算について 岸本地区長 報告資料 P3-4  
 岸本：皆様に感謝申し上げます。山口県支部の協力にて無事終了することができた。
3. ものづくり立国出店について 坂口部会長 報告資料 P5-7  
 坂口：初めての出展。参加者数が予測できないが、だいたい50名の参加を見込んでいる。  
 皆さまのご協力をお願いしたい。
4. 第5回お墓ディレクター更新予算について 中村委員長 報告資料 P8-9  
 山口：第5回の合格者対象更新忘れのないように。
5. 臨時総会開催について 中江専務 報告資料 P10  
 中江：理事会・総会にて理事を承認。よって、臨時総会は行わないこととなる。  
 〈部会より〉
6. 第7回公共石材工事受注研究会報告書について 白木副会長 報告資料 P11-14  
 白木：資料を基に報告。

**その他各委員会・部会報告事項**

射場：先日の会議にあった技能士常駐の問題について石本氏の意見を求める。  
 石本：技能士の資格が無くとも公共工事の石工事はできるが元請けとなるには施工管理技士の資格がないと指名に入れない。技能士は厚生労働省の管轄。仕組みづくりが必要。技能士の資格の向上。  
 大川：次世代・・・若手・・・青年部30名・10団体の出席。次回理事会にて決算とともに報告  
 友常：採石・加工部会では2/7・8 熱海にて研修会を行う。締め切りは1月中。皆様ご参加願う。  
 熊野：輸入卸商部会では業界向けDVD、意見を考慮して進めている。  
 湯口：関連部会では第3回ストーンフェアについて話合いがもたれた。  
 森田：イベント等の部会参加を促す。  
 谷本：建築環境部会では昨日会議にて問題は職人不足、材料費の値上げ、ゼネコン単価をどうあげるか？  
 正常単価に戻すか問題となっている。  
 射場：広報委員会から材料費の値上げについて日経新聞にプレスリリースをできないか？

上野：可能だと思う

射場：設計事務所への情報発信もしていけないか？無茶な工期についてなど。

谷本：工期について、ゼネコンのコストダウン。工期の短縮により職人不足に陥っている。

石本：工業新聞の記事を出せばよいのでは？日経など大手新聞に取り上げてもらえるように。

射場：広報委員会と協力して、プレスリリースのできるように。

二上：新フェアでは消費者むけイベント、来年の日程、会場について検討中である。

上野：石産協通信・理事会などの話を次回に反映していきたい。記事については皆さまの協力をお願いし、情報を伝えていきたい。対外について委員会の中で現在検討中（消費者保護について）お墓の必要性を来期に向けてリリースを予定。

越智：2月7日正副に合わせ、北海道支部のオブザーバー参加し、会員・役員との新年交流会を計画

菊地：東北地区全体会議をメンバーとともに準備を進めている・

石本：お墓相談室を通じ会員の交流図っている。お墓相談室にて地区一致で会員名簿を渡す。退会の歯止めになると思う。石産協の看板の作成を強く願う。

岸田：近畿全体会議に向けて提案内容を検討中。

岸本：鳥取県支部では石文化財の見学。広島県支部では大島丁場見学。各支部活動をしている。

岡本：徳島のお墓相談室がその後、地元ニュースにて紹介がさらに発展した形となった。香川支部京都研修。庵治ストーンフェア2013だが今年は敬承をテーマ。来場者減少傾向。皆様ご協力いただきたい。

三和：昨日の国際関係委員会にて人事中国石材谷合副委員長 建築部会のメンバーは国際関係委員会に入ってもらったこととなった。業界は現在厳しい。広報にお願いして石材の値上がりを掲載してもらいたい。中国との問題も考えていきたいと思う。

白木：昨日の地区長会議は出席半数 次回は昼の時間帯に行く。地区長会議の内容だがお墓相談室で要望があれば会員名簿を渡せないか？意見として：消費者の要望を無視しているのでは？

長江：ホームページ 現在の会員名簿をもっと探しやすいしてもらいたいという要望があった。

福川：市場創造委員会業界は業界の活性化の一助になればと思い活動している。

太田：ものづくり立国の出店は石産協のPRを兼ね協力を乞う。

望月：会費の改正について今後検討し改正していきたい。

井口功：和歌山県支部立ち上げについて設立総会等進めていきたい

山口：研修委員会の組織と固めていきたい。

川本：墓理法行政主体のお墓になってしまう。産業協会が取り組むべき事柄だと思う。

井口健：お墓ディレクターは第二ステージに入ったと思う。変わる部分を皆さんの力で頑張っていきたい。

7. 会費未納者について \_\_\_\_\_ 中江専務 報告資料 P15-16

中江：会費未納者再度納入依頼のうえ、最終的に納入されない場合は退会もやむを得ない。

〈その他〉

8. 捨石出荷基準検討委員会報告 \_\_\_\_\_ 中江専務 報告資料 P17-19

中江：1/30 福島へ望月氏、経産省担当者とともに放射線を測定へ行き後日報告する。

9. 事業計画書・事業報告書テンプレートについて \_\_\_\_\_ 射場会長 報告資料 P20-23

次年度は統一をしたい。加筆修正は事務局まで。

10. 主な会議日程について \_\_\_\_\_ 中江専務 別紙 A3

来年度は2月末までに事業を終了できるように。

V. 監事講評 斎藤勝実監事

監事好評：皆さまの活発熱心な意見はすべて成功に繋がると思う。皆さま頑張ってもらいたい。

VI. 閉 会

2012年1月29日

議事録署名人：副会長 犬塚克明 ㊞

議事録署名人：監 事 斎藤勝実 ㊞

議長 \_\_\_\_\_ 副会長 井口 功 \_\_\_\_\_

議事録作成人 事務局

常任理事 37名中 出席35名 欠席 2名 オブザーブ 1名

監事 3名中 出席 1名 欠席 2名 事務局 3名

合計：40名出席